

令和元年度 学校関係者評価

秋田県立ゆり支援学校

| | |
|---------------------------------|-------------------|
| ◎実施時期：令和2年2月 | ◎回答数：13/13 (100%) |
| ◎評価： A：よい B：だいたいよい C：もう少し D：不十分 | |
| ◎評価上段：人数(人) | ◎評価下段：割合(%) |

| No. | 学校関係者評価項目及び指標 | 評価 | | | |
|-----|--|-----------|----------|---------|---------|
| | | A | B | C | D |
| 1 | 児童生徒が地域で生き生きと取り組み、達成感を感じることができる学習活動を実践している。 【指標】20周年記念事業(行事：大運動会、ゆり支援フェスティバル等)、各種スポーツ大会・美術展・技能大会等への参加等 | 12 92% | 1 8% | 0 0% | 0 0% |
| 2 | 児童生徒一人一人の力を伸ばす授業を目指して、全校で授業改善に取り組んでいる。 【指標】全校授業研究会、学部授業研究会、授業デザインミーティング、授業アドバイザー、校内研修会、校外研修会への派遣等 | 10 77% | 3 23% | 0 0% | 0 0% |
| 3 | 地域と関わる学習活動や貢献活動等をととして、障害者理解を進めている。 【指標】学校間交流、居住地校交流、部活動交流、作業学習交流会、販売会、清掃・除雪・花植などの地域貢献活動、障害者理解授業等 | 9 69% | 4 31% | 0 0% | 0 0% |
| 4 | 卒業後の自立と社会参加に向けて、福祉、行政、事業所等と連携した指導を行っている。 【指標】職場開拓、作業学習、現場実習、デュアル実習、インターンシップ等 | 9 69% | 4 31% | 0 0% | 0 0% |
| 5 | 地域の小・中学校等の要請に応じて、特別支援教育に関する指導助言を積極的に実施している。 【指標】教育相談、特別支援教育セミナー、知能検査、研修会、巡回相談等 | 10 77% | 3 23% | 0 0% | 0 0% |
| 6 | 児童生徒が安心して生活できる安全な学校環境を整えている。 【指標】校舎内外の施設設備の点検・管理、危機管理マニュアルの整備、避難訓練や緊急時対応訓練、地域や関係機関との連携等 | 10 77% | 3 23% | 0 0% | 0 0% |
| 7 | 学校の取組や学習の様子について、積極的に情報を発信して学校への理解を進めている。 【指標】学校公開、学校展、テレビや新聞、ホームページ、学校報や各種通信等 | 11 85% | 2 15% | 0 0% | 0 0% |

■学校に対する意見等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの生き生きとした姿が何よりの成果であった。 創立20周年事業があり大忙しだったと思うが、その頑張りや、確実に生徒やご家族、関係者に強く印象付けられたと確信している。感動は、人の心を動かすパワーだと思う。 創立20周年を迎え、内容の濃い充実した1年であった。従来の活動に加え地域での活動が増えたことで、より地域の学校としての理解が進んだと思う。職員の多忙感が増したことは課題として考える必要があると思う。 全校一丸となった創立20周年の各種事業への取組は素晴らしいものだった。また高等部の生徒を中心とした児童生徒の取組は感動的だった。生き生きと活動する子どもたちの様子が、今でも目に浮かぶ。 様々な機会に、子どもたちが一生懸命に取り組んだり、周囲と関わっていきこうとしたりする姿を見る度に胸が熱くなる。子どもたちが、地域で趣味などの楽しみを持ちながら生活していける社会になるように関わっていききたい。 子どもたちの輝く眼や姿に感動した。これは、先生方がビジョンと熱意をもって子どもたちと接していること、子どもたちが学びを理解して夢と希望をもって学校生活を送っているからだと思う。 「にかほっと」での仁賀保高校とのダンスはよかった。練習時間の確保が課題だが、生徒たちにとっていい経験になったと思う。「わかもの店」で他校の高校生と対等に販売できたことで達成感を味わえたと思う。こうした取組が継続できれば生徒の自信となり、質の高い自立と社会参加の実現につながり、地域の理解も一層進むと思う。 一つ一つの行事を経験する中で、生徒が大きく成長したのではないかなと思う。 学校が、地域の方々が障害を理解し自然な関わりができる社会づくりを進めていることは嬉しいことである。 地域との関わりは重要である。今後も多方面とつながっていけたらよいと思う。その先にある共存・共生が普通のものとなるように一緒に考えたいと願っている。 卒業後の居場所を作るための一方策としてのポッチャはよい。他にも、いろいろな体験ができ地域の人たちと交流できる場があるとよい。学校だけでなく、行政や地域の人たちと共に作り上げていけたらよいと思う。 地域貢献活動にPTA会員がもう少し参加できる方法を検討していきたい。 学校周辺の方々と、合同の避難訓練や有事の際の協力体制構築の相談をもっと活発に行ってもよいと思う。 アンケートで、いじめの項目に「はい」と答えた生徒の気持ちや自由記述の意見を大切に考えて、引き続き見守ることが大切である。 職員の多忙化については、隔年実施により行事が精選されると思う。 廊下に、生徒個人の本の紹介が掲示されていることを嬉しく思った。授業で絵本を使ったり保護者が読み聞かせをしたりすることを今後も続けてほしい。 授業改善の成果が全校の授業力の向上になって表れているか、資料からは分からなかった。 職業教育改善会議での高等部生徒の自信がみなぎった発表態度は立派だった。発表内容も、反省・課題から改善点を導き出しているなど素晴らしかった。それを見守る先生方にも感動、生徒と先生方の一体感に好感もてた。 職業教育改善会議での高等部生徒の発表を聞いて、活動を重ねることで、自分たちで気づいたことを次の活動につなげていることを知ることができた。たくさんの方のことを考え学習することは、社会に出たときにより結果につながると思う。 |
|---|